

指導事例

短編-3 「赤ちゃんはどこから」

赤ちゃんはどこからくるのかという、就学前の子どもの疑問に、どう対応しようかと悩む保護者の様子を通して、家庭における性教育について考えます。

エピソード



活用方法

ポイント

家庭における性教育について考える教材です。

主な対象

就学前施設に通う子どもの保護者及びその支援者等

時間

45分程度

(「その他の質問」(P7~9)を活用することで、45分以上の実施も可能です。)

想定される実施場面

- ・保護者が参加するイベント等との組み合わせ
- ・就学前施設等におけるPTAの会議等の前後など、保護者が集まる場面で、45分程度の短時間で実施することを想定しています。また、「その他の質問」を活用することで、1~1.5時間程度の親学習を企画し、参加者を募って実施することもできます。

活動の流れ（45分）

| 時間 | 活動内容 |
|-----|--|
| 8分 | ◆ 導入（P3） <ul style="list-style-type: none">▶ あいさつ・進行役の自己紹介▶ 参加体験型学習のルール確認▶ アイスブレイキング・参加者の自己紹介 |
| 30分 | ◆ グループワーク（P4～6） <ul style="list-style-type: none">▶ エピソード（4コマ漫画）を読む <ol style="list-style-type: none">① 4コマめの保護者は、何について悩んでいると思いますか。② あなたが4コマめの保護者だったら、どうしますか。③ あなたは、子どもが小さいうちから、家庭で性の話をすることは必要だと思いますか。 <p>※ 時間や目的に応じて、P7～8の「その他の質問」を活用できます。</p> |
| 7分 | ◆ ふりかえり（P9） <p>今日の話しあいをふりかえりましょう。</p> |

事前準備

事前準備

資料

資料を準備する

- ・紙の資料を参加者へ配付する場合は、事前に教材を印刷する。
- ・紙の資料を配付せずに、参加者のスマホ等で見てもらう場合は、Webページにつながる二次元コードを準備する。

グループ
分け

受付時など、開始前にグループをつくる

（受付時に）「本日はグループにわかれて実施します。
○グループの席にお座りください。」

- 1グループが4～6人になるようあらかじめグループ分けをする
- ・事前に参加者がわかっている場合は、グループ分けをしておく。その際、父親や母親、祖父母など、さまざまな人がグループに入るようにすると、グループワークで多様な意見が出やすくなる。
 - ・当日に参加者がわかる場合は、会場に来た方から順にグループを割り当てる方法などが考えられる。

導入



あいさつ 進行役自己紹介

進行役の自己紹介をする

「みなさん、こんにちは。」
「このあと『子育て』についての4コマ漫画を読んで、話しましょう。」
「わたしは、・・・・・・・・。」

ルール 確認

参加体験型学習に必要な4つのルールについて説明する

「これからの時間の中で、守ってほしいルールが4つあります。」

「参加」: 講座に参加するために、できるだけ自分の考えを話すようにする。話したくないことはパスもできる。

「尊重」: 人が話している時はしっかり聞く。自分の考えと違っていても話をさえぎらず最後まで聞く。

「守秘」: この場で聞いたことはこの場限り。他でもらさない。ワークが進むと自分の生い立ちや家庭状況を話す人もいる。安心して話せるように、この場での話は絶対に外にもらさないことを約束する。

「時間」: 一人あたりの発言時間を守る。
参加者全員が話せるように、制限時間内に話を収めるよう気をつける。

アイスブレイク 参加者自己紹介

アイスブレイキングを行う

「アイスブレイキングとして〇〇をしましょう。」

- ・参加者の心をほぐすワーク・ミニゲームなどを行う。
- ・緊張や堅い雰囲気を柔らかくしたり、意見を出しやすくしたりする。

参加者の自己紹介を行う

「同じグループの方々に自己紹介をしましょう。」

「お名前と、お子様の学年や学級をお伝えください。」

1

エピソード（4コマ漫画）を読む

「それでは今日の資料を配ります。はじめにエピソードの4コマ漫画を読んでみましょう。」



4コマめの保護者は、何について悩んでいると思いますか。



4コマ目の保護者は、「どうしよう…」と言っています。何について悩んでいると思いますか。

予想される意見



似たようなことがあるという方々

どんなふうに話したらいいか、わからないんじゃないかな。年齢的にどこまで理解できるのかもわかりにくいと思う。

具体的に伝えることはできるけど、わかりやすい言葉にできないかもしれない。

「コウノトリが…」とかよくある言い回しだけど、嘘をいってもいいのかな…。

ついに来たかって思ってるかも。でも、何も答えを用意できてないから、難しいって思ってるんじゃないかな。

「今」伝えた方がいいのか、「あと」でもいいのか、迷っているのかも。答え方がわからなかったら、「調べておくね」と言っておいても良いのかもしれない。

子どもがまだ小さいから、年齢的に伝えていいものか、迷ってるんじゃないかな。



その他の意見の方々

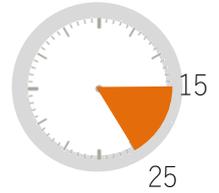


進行のポイント

1. はじめに、意見交換を2～3人組で行うと、後のワークに対する抵抗感が少なくなると考えられます。まずは、2～3人組で話し合い、その後、出た意見をグループで共有するという方法が考えられます。
2. 参加者から出た意見を把握することで、後のワークにつなげることができます。

2

あなたが4コマめの保護者だったら、どうしますか。



進行役

一つめのワークでは、保護者が悩んでいる内容を考えてもらいましたが、あなただったらどうすると思いますか？考えてみましょう。意見や感想なども紹介してください。

 予想される意見

私は話をすると思う。子どもが疑問に思ってることなんだから、答えてあげないと。全てを説明しなくても、「赤ちゃんのもと同士がくっついたら赤ちゃんになる」くらいで説明できたらいいんじゃないかな。

赤ちゃんが生まれることが題材になってる絵本って結構あるから、「一緒に読もうか」って声をかけてあげたらいいと思う。

せっかくの機会だし、話をすると思う。何でも話ができる親子関係でいたいし。何を知りたいか、子どもに聞いてあげたら、たくさん出てくると思うし、会話も進むんじゃないかな。



話はすると思うけど、この場でははぐらかすかも。子どもはまだ5歳だし、もう少し大きくなってからでもいいんじゃないかな。

私ははぐらかすと思う。私も家庭で何も教わってないし、自然にわかっていくものだと思うから。

急に聞かれると、とっさに「そんなこと聞いちゃダメ」って言っちゃうかも。子どもの質問には、ちゃんと向きあわないといけないと思っはいるけれど、突然質問された時の反応が難しい。

わからない。そのまま聞かないふりして、放っておくかもしれない。



進行のポイント

1. 意見にかたよりのある場合は、違った意見を紹介することで、話し合いが深まります。
2. 各家庭の考え方や意見を尊重しながら、話を聞くことが大切です。
3. 参加者のニーズや課題意識が絞られている場合は、それに合わせた質問に代えて行う方法があります。P7～9の「その他の質問」をご覧ください。

3

あなたは、子どもが小さいうちから、家庭で性の話をすることは必要だと思いますか。

38



25



進行役

みなさんから、色々な意見が出てきました。それでは、あなたは、子どもが小さいうちから、家庭で性の話をすることは必要だと思いますか。

予想される意見

必要だと思う。だけど、この4コマの子どもは5さいだし、まだわからないことが多いと思うので、もう少し大きくなってからかな。

した方がいい。ウチの子は動画をよく見てるけど、どんな内容のものが保護者も把握しきれないし、少しでも早く性に関する話に触れておいた方がいいと思う。



必要だと思う。はじめは、自分や相手を大切にすることから話をしていったらいいんじゃないかな。

必要ないと思う。私自身も家庭で何も教わらなかったけど、何も困らなかったし。

必要かもしれないけれど、難しい。話すとなっても、何から話したら良いのかわからないな。

●家庭での性教育において、活用しやすい絵本等の紹介

【小さい頃から使いやすい絵本】

- ・だいじだいじどーこだ（大泉書店）
- ・いいタッチわるいタッチ（復刊ドットコム）
- ・おちんちんのえほん（ポプラ社）

【赤ちゃんのことを伝える絵本】

- ・やさしくわかる性のえほん あかちゃんはどこからくるの？（WILL 子ども知育研究所）
- ・ようこそ！あかちゃん せかいじゅうのかぞくのはじまりのおはなし（大月書店）

【大人が読んで学べる本】

- ・おうち性教育はじめます（KADOKAWA）

他にもたくさんあるので、探してみてください！

その他の質問

以下は、「その他の質問」です。参加者のニーズや立場、時間や目的に応じて、④～⑥について話しあってみましょう。

【親学習の時間を 45 分以上確保できる場合】

グループワーク③の前後に、「その他の質問」を追加することで、話しあいをより深めることができます。

【グループワークをより焦点化したい場合】

グループワーク①～③に代えて、「その他の質問」から選んで質問することで、参加者のニーズに合った話しあいを行うことができます。

【進行役（ファシリテーター）として気をつけること】

多くの参加者とは異なる少数意見があっても、それを否定せず、すべての意見を尊重しましょう。

★性について、家庭で話をすることは不安だという意見が多い場合。

グループワーク

4



進行役

家庭で性の話をするということについて、どのようなことが不安ですか。

予想される意見

性について話をすることで、逆に興味を持たせることにならないかな。動画で色々探してしまわないか、心配。



自分の知識に自信がないことかな。家庭で子どもに教えるのって、学校の性教育とも違うと思うし。どこまで踏み込んだ話ができるか分からないな。もっと情報がほしいかも。

子どもが既にいろいろな知識を持っていたりして、こっちが戸惑わないかな。そんな様子は、子どもに見せたくないし。

話をする前に、保護者間で同じ思いかどうか、確認する必要があるんじゃないかな。意見が違うことなんて、いっぱいあるし。

グループワーク

5



進行役

家庭で性の話をしないことに、不安はありませんか。

予想される意見

スマホとかでどんな動画を見ているか…、そこから何を知って、どう理解しているのかわからないから、話をした方がいいのかな。



子どもから色々聞かれたら、ちゃんと答えてあげないといけないと思うし、いつまでもはぐらかすわけにも…。子どもとの関係も悪くなるかもしれない。

自分の体も、相手の体も大切にして互いに尊重するという意識が薄くなるかもしれない。友だちが嫌がることをしてしまわないかな。

特に不安はないかな。子どもも自分で学んでいこうし、学校でも教えてくれるんじゃないかな。

★性について話をする年齢について議論が多い場合

グループワーク

6



進行役

性について話をするなら、何歳くらいがちょうどいいと思いますか。

予想される意見

やっぱり、就学前施設に入る前にそれとなく話をしておいた方が、トラブルも起きにくいんじゃないかな。



そもそも、年齢によってどんなことを話したらいいんだろう。子どもの成長によって、理解できる内容が変わってくるし。色んなことに興味をもってきた頃、4歳ごろって、「なんで?」「どうして?」が多くなってた気がする。

教材にあるように、5歳くらいでいいんじゃないかな?小学校に入学する前だったら、いろいろとわかってきてると思うし、話すにはちょうどいいと思う。

子どもが、精通や初潮を迎えそうな、小学校高学年くらいでいいんじゃない?でも、反抗期に入っていると、スムーズに会話できないかも。

★子どもとの関係づくりについて議論が多い場合。

グループワーク

7



進行役

子どもと何でも（性に関することを含む）話ができる関係を築くためにはどうすればよいですか。

予想される意見

子どもが話したいことを、最後まで聞いてあげることが、関係を築くためには重要だと思う。保護者が話をちゃんと聞いてくれるって、安心するんじゃないかな。



話を聞くときの、保護者の態度って重要だと思う。スマホを覗きながら聞くんじゃないくて、話をしっかりと聞いてるよって、顔を見て聞いてあげなくちゃ。

普段から、何気ない話をしておくことが大切だと思う。いざ話したいと思っても、その積み重ねができてないと何も聞いてくれないし、話してもくれない。

子どもが話したいと思うタイミングは逃したくないなあ。でも、保護者だっていつでも話を聞いてあげられるわけじゃない。子どもとの時間を大事にしたい。

ふりかえり

今日の話しあいをふりかえりましょう。

45

38



進行役

ありがとうございました。
最後にみなさんの思いを共有しましょう。
一人ずつ順番に、今日の感想をお願いします。

予想される感想

- ・家庭内で性に関する話をすべきかどうか、ずっと気になっていた。今日話し合ったことを参考にしたい。
- ・ウチの子はまだ幼いけれど、どこまで話せるのか考えてみたい。
- ・絵本が売ってるのは見たことがある。帰りに買ってみたいと思う。
- ・まだ、就学前の子どもに、性に関する話が必要かどうかわからない。保護者間で考えたい。



ふりかえりのポイント

1. ふりかえりでは、ここまでの話しあいをふまえ、エピソードからはなれ自分の身近な事象として捉えて考えていきます。自分ならどう考え、何をするか、多様な考えがあることに気付いたり、自分の子育てをふりかえったりすることになります。
2. 多くの参加者とは異なる少数意見があっても、それを否定せず、全ての意見を尊重します。特定の感想に集約させるなど、無理にまとめる必要はありません。
3. 参加者が日頃の想いや考えを話すことができたか、また、気持ちがりフレッシュでき、子育てに前向きに取り組む気持ちになれたかを問いかけ、確認しましょう。
4. 短編だったため、まだ話し足りない方もいると想定できます。その場合は、別日に実施する親学習など、子育て中の保護者が参加できる集まりを紹介しましょう。

● ふりかえりの言葉の例



進行役

たくさん意見が出てきましたね。「家庭での性教育」について心配や悩みがいろいろありますね。共感できるお話がたくさんあったのではないのでしょうか？その中で出てきた、他の方がされていることがヒントになるかもしれませんね。